

平成28年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例

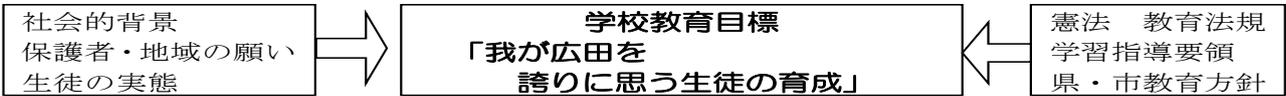
〈校訓〉 賢く 優しく 遅しく	佐世保市立広田中学校
	校長 山口 政則
	生徒数 475名 (特別支援学級：2学級含む)
	所在地 佐世保市重尾町188
	

1 学校経営グランドデザイン

平成28年度学校経営グランドデザイン

佐世保市立広田中学校

校訓【 賢く 優しく 遅しく 】



めざす学校像	めざす生徒像 (校訓から)	めざす教師像
【ひ】 広く知られる学校 【ろ】 ロマンあふれる学校 【た】 他者を大切にする学校	【ひ】 広く英知を求め学ぶ生徒 【賢く】 【ろ】 労を惜しまず、他者に優しく接する生徒 【た】 耐える心を持ち、常に前進する生徒 【優しく】 【遅しく】	【ひ】 日々研鑽に励む教師 【ろ】 論よりまずは実践する教師 【た】 タイミングを逸することなく、適切な指導ができる教師

【豊かな心の育成】	【確かな学力の定着】	【健やかな体の育成】
・一徳運動の推進 生徒・・・「お先にあいさつ」 教職員・・・「あいさつに一声添えて」	・教科チームとしての連携 ・3つの「わ」を意識した授業実践 ・互見授業の推進	・健康教育の推進 ・部活動への積極的参加 ・食育の推進

【本年度重点目標】

「確かな学力をめざした授業の創造」～教科チームを生かした授業力向上～

具体的実践

- (1) 無理のない研究授業の推進
 - ・積極的な互見授業の展開 → いつでも誰でも互いに参観
 - ・指導案不要 (授業の中で「ねらい」を明確に)
- (2) 教科チームとしての連携
 - 急な年休等における代教は同一教科の教師で → 授業を進めることも可
- (3) 授業交換
 - 固定学級に限らず学級を交換して授業を行う → 生徒の反応で自己を評価できる
- (4) 3つの「わ」を意識した授業の実践
 - 「わ・・・分かる授業 わ・・・わくわくする授業 わ・・・笑いのある授業」
- (5) 他校に学ぶ
 - ①市教育研究部会における研究授業を本校で進んで受ける。
 - ②他校の優秀な教員の授業に学ぶ。
他校に出向き参観させてもらう。他校から講師として招聘する。
- (6) 初任研修、若手研修、10年、15・20年研修を全体で生かす
 - ①初任研、若手研に全職員で関わり育てる。
 - ②10年・15・20年研修を生かし互いの技能向上を図る。
- (7) テストの結果で指導の成果を計る
 - 平均「60点」を想定したテストの作成
 - ①問題作成は教科チームで検討して実施
 - ②60点未満 → 指導不十分 → 改善策を講じる

2 実践内容

(1) 「広田中といえば…」学校づくり

① 学校カレンダー作成、配布

学校年間行事をカレンダーにして、各家庭や地域に配布した。
保護者や地域からも学校の予定が事前にわかると好評であった。



学校カレンダー

② のぼり旗、横断幕の作成

校内入口や玄関前、体育館前に学校のシンボルとしてのぼり旗を、
体育館内に横断幕を置した。本校の雰囲気をもくし、各種行事や
部活動の会へも持参し学校の特色として定着した。



のぼり旗

③ 「校訓マスコットキャラクター」による徳育推進活動 かしこ君 やさしちゃん たくましくん



広ちゃんズ

校訓「賢く・優しく・遅しく」を身近に感じさせるために原寸大の着ぐるみとして完成させ、各種
行事やイベントへ参加し、本校教育活動のアピールと徳育推進活動を実践した。

〈実践例1〉

5/15(日)13:30~15:30にエレナ広田店前で生徒会、PTAが協力し、熊本地震義援
金活動を行った。校訓マスコット「広ちゃんズ」も参加し、街頭募金をした。当日は、買い物帰りの
地域の方々から5万円を超える多くの義援金をいただき、被災地へ送金した。



横断幕



〈実践例2〉

学校行事（入学式）や本年度本校体育館で開催された九州地区中学校社会科研究発表会（地理的分野）の受付を行い、学校イメージアップを図った。また、小中連携を活性化するために運動会へ参加した。児童の人気者になり大歓迎を受けた。

九社研での受付



広田小運動会へ参加



④ 「広ちゃんズ」ショーケース、オリジナル風船の製作、キャラクターメンテナンス

本校独自の校訓キャラクター「広ちゃんズ」の保管として、正面玄関展示用ショーケースを製作した。また、キャラクター入りの風船を製作し、展示や各種イベントや募金活動等で配布した。マスコットキャラクターの着ぐるみメンテナンスとして校訓キャラクター活動後のメンテナンス（クリーニング・縫製）を行った。

「広ちゃんズ」ショーケース



オリジナル風船



(2) 講師招聘による講演会及び講話、映画上映（本校体育館）

① いのちを見つめる講演会（本校体育館）

6月23日（木）5、6校時

5校時 一斉道徳授業 保護者（120名参加）

6校時 メディア講習会 保護者（100名参加）

メディア講習会



【内容】

道徳授業では、命の尊さ等について考えた。メディア講演会では、携帯電話のメールやSNSの利用の仕方を学んだ。

② 1・2年生性教育セミナー（本校体育館）、3年デートDV防止教室

1年生 11月9日（水）14:15～16:05

2年生 11月29日（火）14:15～16:05

3年生 7月19日（火）14:15～16:05

講師：1・2年朝永ゆかり氏（長崎県看護協会助産師職能委員）

演題：「大切にしよう 思春期の心と体」

講師：3年NPO法人DV防止ながさき 岳村由美子氏

2年生性教育セミナー



【内容】

- 性教育セミナー…二次性徴、命のはじまり、妊娠のしくみ、お産の方法、思春期の性、性感染症などの性の問題を抱える若者の現状について体験型での講話
- デートDV防止教室…非暴力、対等な男女関係のあり方についての講話

③ 薬物乱用防止教室（本校体育館）

11月25日（金） 14：15～16：05 3年生対象
講師：清水 昭英 氏（長崎県警察スクールサポーター）



薬物乱用防止教室

【内容】

危険ドラッグ等を含めた薬物の有害性や危険性、乱用の実態を理解するとともに、その防止対策を知ることにより、薬物乱用に対する危機意識を高め、決して使用しない、絶対に許さないという強い意志を育てた。広報車「あすなろう号」の見学を行った。

⑤ 人権集会（本校体育館）

11月22日（火） 13：55～16：05
全生徒、保護者対象（15名参加）
映画「青い鳥」上映



映画「青い鳥」ポスター

【内容】

映画を通じて日常生活でのいじめの現状や命の大切さについて深く考えた。

（3）地域との連携

広田中学校区青少年健全育成会や広田地区生涯学習推進会が主催する行事に参加して、地域の教育力を生かす取組を実施している。

- 空き缶回収キャンペーン（7月10日）：250名参加
- 地区交流球技大会（8月21日）：生徒約150名参加
- ふるさと史跡めぐり（11月6日）：生徒約200名参加
- 広田ふるさと祭り（11月3日）：吹奏楽部（45名）出演
書道と絵画を展示
- 鬼火だき（1月7日）：生徒約200名参加

空き缶回収キャンペーン



ふるさと史跡めぐり



鬼火だき



（4）総合的な学習の時間

〔1年生〕ふるさと歴史発見学習 10月13日（木）
8：40～12：20

ふるさと歴史発見学習

【内容】

宮地区、三川内地区、早岐地区、広田地区、江上・針尾地区のコースに分かれて、郷土の歴史や文化に対する理解や郷土に対する誇りと愛情を育てるとともに、ふるさと佐世保の発展を願う態度を培った。



〔2年生〕職場体験学習（56事業所）

10月26日（水）～10月28日（金）

【内容】

事前に生徒が事業所に電話連絡を行い、事前打合せの日時を決めたり訪問して打ち合わせをしたりすることで、事前連絡の仕方などを学習する。3日間の職場体験学習を行うことで、働くことの意義、働くことの素晴らしさや大変さ、様々な方々とのふれあいなど、多くのことを学ぶ。また、表現力を培うために発表会を行い、プレゼン等によるまとめや自己表現力を高めた。

職場体験学習



（5）授業改善及び学力向上の取組

研究テーマを「確かな学力をめざした授業の創造」～教科チームを生かした授業力向上～と設定し、分かる授業・わくわくする授業・笑いのある授業を実践し、互見授業の推進や若手研修等の経年研修を中心とした研究授業を計画的に実施して教師の授業力向上を図ることができた。また、次年度からの小中一貫型校開設に向けての準備を行った。

（ア）校内研修テーマの確認、実践に向けての計画（5月）

（イ）小中一貫型校開設に向けての共通理解、準備について（8月～）

小中全職員が8部会に分かれて次年度からの小中一貫型校開設に向けて教育課題に係る内容や諸準備等についての協議をし、共通理解を図った。

（ウ）若手研修研究授業（11月、2月）

